

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高砂事業所		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画に沿った支援、活動プログラムの固定化にならないよう進めている点を評価いただいた	・モニタリング作成は1人～2人で協力して作成し評価と振り返りを実施。ケース会議を行い本計画に内容を反映。 本計画作成前に確認を必要とする時は、保護者様とも内容のすり合わせを実施し本計画に反映させている。	・5領域に沿った個別支援計画を作成し計画を元に支援を実施する。 ・引き続き、定期的に家族支援を実施。計画更新期間だけでなく、必要と感じるタイミングでも相談支援を行い、保護者様と支援の方向をすり合わせていながら支援を進める。
2	・定期的な面談や助言などの支援について評価いただいた	・支援終了後にフィードバックを実施、当日の利用児童の様子をお伝えしている。 ・計画更新前や大切な情報を共有する必要がある場合には、家族支援を実施。事業所間でも情報を共有している。	・保護者様からご質問を受けて、助言や提案の質を上げていけるように、引き続き職員側も社内研修や外部研修を受けていく。
3	・満足度の項目について、高評価をいただいた	・職員間で利用者様の情報共有を実施、担当支援員や他の支援員でも支援を実施できる体制である。 ・机上課題だけでなく、目的の元で近くの公園を利用したり身体を動かす活動も実施。静と動の支援課題を取り入れている。	・支援課題1つ1つに目的がある。個別支援計画を元に支援内容を作成し、ねらいを持って支援を実施。支援内容と目的にブレが生じないように、事業所間や保護者様とも情報共有を行いつつ、利用して頂けるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内の利用者様同士の交流会のイベント実施や研修案内の発信力	・SNS等をうまく活用しきれていない ・校舎内に各種案内を掲示しているが、周知には至っていない	・ブログやSNSなどを活用して研修案内やイベントの発信を行う ・校舎のInstagramを近日開設し、イベントや研修の案内を発信する
2	・地域の他の子どもとの交流やイベントが希薄	・利用者様の意向を事前につかみきれていない ・個別メインではあるが、時には小集団を希望の方もいる	・フィードバック時や定期的な相談支援を実施し、意向を聞き取りした上でイベントに反映。
3			

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1		1	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3		1	人数がぎりぎりだと感じるときがある →人員配置は適切に満たしていますが、シフトの都合上ぎりぎりの人員で運営せざるを得ない日もございます。ご不便おかけし申し訳ございません。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2		1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26				
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			1	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	26				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25				1
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26				
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				1
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	6	3	6		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	1	4	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	26				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	8	3	5
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		2
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		4
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			1
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			1
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			1
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			3
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26			
	29	事業所の支援に満足していますか。	26			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」高砂事業所			公表日		2024年 12月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	1	定員10名や職員数を適切に配置できている	適切な人員の人数を配置しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	1	室内に段差はなく、テーブルで室内空間を区切るなどをしている	事業所内だけでなく、事業所外の環境も整えてまいります。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	1	清掃・消毒・換気を適宜行っている	事故に繋がらないよう今後とも生活環境を整えてまいります。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		静養室・個別相談室での対応が可能。子供の特性に合わせて、個室対応にするなど行っている。	こどもの特性や要望に応じて個室対応する場所を設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		1日、月間、年単位の目標を設定し、業務に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			事業所評価アンケートにご回答いただく他、日々のFBやイベント後のアンケート等で、意向の把握や業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎週校舎会議を行い、業務改善に努めている。朝礼・終礼など共有の場を設けている。	朝礼終礼、1on1などを実施し意見を受けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		外部評価は行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		ハラスメント研修、感染症、虐待防止、初任者研修など、法定研修から任意参加の研修まで広く機会がある。	社内研修は年間計画に基づき実施、社外研修にも参加しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	活動内容をブログにて周知している	個別支援計画を元に支援内容を考え、目的をもって支援実施しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用前や計画更新時期にアセスメントを行い、計画書作成に反映できている。	定期的にあセスメントを実施し、利用目的や今後の目標に向けた個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		担当職員の意見を聞き取り、モニタリングを行い計画作成を行っている。	担当支援員の意見を聞き取り計画内容に反映し、ケース会議を行い個別支援計画書を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ケース会議を行い、計画書の内容を共有し、支援に反映できている。	ケース会議で内容を共有し個別支援計画書を元にして支援プログラムを立案しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	年1回SDQ実施。毎日記録作成も行うことができている。	SDQやNCプログラムを実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域の項目とそれぞれの目標を立てながら、プランに内容を記載している。	放課後等デイサービスガイドラインを元に、5領域の計画作成とそれぞれのねらいを定めた支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	個人だけでなく、職員間で支援内容を共有し、プログラムを組み立てている。	慣れた職員は個人での立案もあるが、他の職員に相談・協力出来る体制を整えています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			利用者様に合わせて課題のステップアップ調整を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	3	季節イベントも絡めて、小集団活動も取り入れている。	集団活動を計画に記載している場合としていない場合がある。記載の有無に関わらず集団活動を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5		朝礼終礼を行い、日々の情報共有で支援場所の確認や支援内容の打合せを行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	必要な場合のみ、社内チャットツール・MTGで共有	業務の合間や終礼時を活用し業務の振り返り、利用者様の様子や支援内容の共有を行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			支援後に記録を作成し、記録内容や不備のチェックも職員間で実施することで、支援内容の共有、検証や改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		3～6か月に1回モニタリングを行い実施している。	半年に1回はモニタリングを必ず実施。説明と同意を得ています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		ガイドラインの項目に沿って内容を組み合わせ計画を作成しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			利用者様のニーズや必要に応じて自己選択の機会を設ける機会を支援に取り入れています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			児童発達支援管理責任者は会議に参加し、担当支援員も同席可能な時は一緒に会議参加を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		関係機関と連携をご希望される場合などがあれば連携を行う体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		全ての学校は当てはまらないが、担当者会議等の会議の際には連携強化を行い情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		ご要望を受けたり連携が必要な時には情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	情報提供を求められれば行う。	前例はないが、情報提供の必要な時には利用者様のご同意の元で行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		地域の機関との連携を行っている。必要に応じて研修を受けるなど実施しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		今年は外部の方向けのイベント実施はできていない。保護者相談会などのイベントを企画し外部の方にも広く知る機会を提供していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		児童発達支援管理責任者が必ず会議に参加しています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	支援後のフィードバックで情報共有を行っている。	保護者様から、学校での出来事などを伺っています。相談支援や支援後のFBをもとに共通理解を図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	家族向けの研修案内の告知も行っている。	今年度はペアトレ内容のイベントが実行できず。今後は不定期の開催でも少しずつ回数を増やしていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時に実施。	初回の面談見学対応時や利用契約時など、書面と口頭にてご説明をさせて頂いております。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		支援後のフィードバック・家族相談	支援後のフィードバックや事業所内で相談支援を実施するなど、保護者様と利用者様の意向を聞き取り、頂いたご意見を元にしている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			内容のご説明を行い同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			ご相談の依頼などを受けた時は、日程調整を行い面談を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	実施機会は少ないが、前例はある	今後、保護者イベントや兄弟参加型のイベントを企画できるよう、事業所内で話し合いを行っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			苦情報告を受けた際には苦情の内容を事業所内で共有し、原因を振り返り対策を考えた後、保護者様にご報告を行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	月2回ブログ更新	イベントの案内やブログの発信、教室通信の掲示、各種研修案内など、情報発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	鍵付きロッカー内に保管している。	契約時に個人情報保護の説明を行います。重要書類は鍵付きの書庫への保管を徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			配慮すべきことを事前に保護者様からお話を伺い、対応に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		事業所の利用者様向けのイベントは実施しているが、外部の方向けに対する機会は設けられていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		各種マニュアルに則って、職員に周知しマニュアルに沿った対応ができるよう研修を実施しています。また、保護者様・利用者様にも閲覧可能な場所にマニュアルを設置しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPを策定している。災害に備えた準備や研修も実施して取り組んでいます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2		利用開始前に利用者様の情報を聞き取りして対応しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	必要に応じて保護者を介して対応	利用開始前にアセスメントを実施し、把握に努めています。食べ物を扱うイベントの実施前にも、アレルギー確認をします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	非常時災害マニュアルとして管理	マニュアルに則り行動できるよう各種研修を受けています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		BCPの策定について利用契約時にご説明を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		作成・保管している	日々の業務内で気づいたヒヤリハットや事故については、報告書を作成し、事業所内で閲覧・内容共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			年間計画に定められた研修を受けている。外部研修の機会があれば参加をするようにしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			利用契約時に身体拘束の同意書をご説明し同意を頂いています。	